

農林土木委託業務特記仕様書

(共通仕様書の適用)

- 第1条** 本業務は、徳島県農林水産部「徳島県農林土木設計業務共通仕様書 平成23年5月」、「徳島県農林土木測量業務共通仕様書 平成23年5月」、「徳島県農林土木地質及び土質調査業務共通仕様書 平成23年5月」及び徳島県国土整備部「用地調査等共通仕様書」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

(共通仕様書の変更・追加事項)

- 第2条** 「徳島県農林土木設計業務共通仕様書 平成23年5月」、「徳島県農林土木測量業務共通仕様書 平成23年5月」、「徳島県農林土木地質及び土質調査業務共通仕様書 平成23年5月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、徳島県ホームページ（農林水産基盤整備局農山漁村振興課のページ）に掲載している各業務の「共通仕様書【変更・追加事項】」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

(共通仕様書の読み替え)

- 第3条** 「徳島県農林土木設計業務共通仕様書 平成23年5月」、「徳島県農林土木測量業務共通仕様書 平成23年5月」、「徳島県農林土木地質及び土質調査業務共通仕様書 平成23年5月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【農林土木事業設計業務編】」とあるのは、「徳島県電子納品運用ガイドライン【農林土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

(成績評定の選択制(試行))

- 第4条** 当初業務委託料（税込み）が100万円を超え500万円未満の農林土木工事に係る測量、設計、試験及び調査の委託業務（建物調査、不動産鑑定、森林整備、現場施工管理等の委託業務は除く）は、別に定める「委託業務における成績評定の選択制の取扱い（試行）」を適用する。
- 2 前項の対象業務の受注者は、契約時、評定の実施の意向について、「委託業務成績評定に関する意向確認書」を発注者契約担当に提出しなければならない。
- 3 履行途中の評定の意向変更は原則認めないこととする。ただし、成績評定を希望した場合において、完了時、変更契約により業務委託料（税込み）が100万円以下となった場合は、評定は行わないものとする。

委託業務における成績評定の選択制の取扱い（試行）

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/sangyo/nogyo/5023580/>

(ウィークリースタンス)

- 第5条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組みなければならない。
- (1) ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
- (2) マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
- (3) フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

(Web会議)

- 第6条** 本業務は、Web会議の対象業務であり、対面による打合せをWeb会議とすることができる。

- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施を決定するものとする。決定した内容は受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。
- 3 Web会議の内容については、受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。なお、打合せ記録簿にはWeb会議の実施状況写真を添付するものとする。

(履行報告)

- 第7条** 受注者は、履行状況を徳島県ホームページに掲載する様式に基づき毎月作成し、履行月の翌月5日までに監督員に提出しなければならない。なお、提出については、紙または電子メールにより行うこととし、電子メールを活用する場合は、次のとおりとする。
- 2 受注者は、様式18-1と電子メール様式18-2に必要事項を記入した後、電子メールに添付し監督員へ送信する。監督員は記載内容を確認し、電子メール様式18-2に確認年月日と発注者確認欄に氏名を入力した上で、受注者へPDF形式のファイルに変換し返信する。なお、受注者は電子メールで提出した様式を、再度紙媒体で提出する必要はない。

(本業務の特記仕様事項)

- 第8条** 本業務における特記仕様事項は、次のとおりとする。

1 他業務との調整

業務上関係する、過年度業務（「R2阿耕 広域 阿南丹生谷2期 平川内橋梁基本設計業務」）の内容を踏まえつつ、測量業務（「R3阿耕 広域 阿南丹生谷2期 平川内測量業務」）受託者と十分な連絡・調整・協力を図り、測量業務との工程調整、設計範囲・箇所等の調整を行ったうえで、業務を遂行するとともに、測量業務受託者の必要な時期に、実施設計成果を提供しなければならない。

2 契約変更

本業務において、契約変更に係る協議事項は、次のとおりとし、内容等について変更があった場合は、両者協議のうえ、契約変更を行うものとする。

- (1) 「作業項目及び数量」に変更が生じた場合（軽微な変更は除く）
- (2) 工期の変更が生じた場合
- (3) その他

3 その他

本仕様書に疑義が生じた場合、又は定めのない事項は、監督員と協議のうえ、作業を進めるものとする。

業務期間内に監督員が資料の提出を求めた場合は、受託者は速やかに応じるものとする。

監督員と打ち合わせ後は、その要旨を打ち合わせ簿に整理し、成果品に綴じなければならない。

成果品の検収後、誤り等が新たに発見された場合は、受託者は速やかに訂正しなければならない。

実施設計における作業項目については、別添のとおりにする。

【農道設計作業項目内訳表】《実施設計》 L=140m

作業項目	作業内容	作業項目
1 現地調査	1/500 地形図に概定ルートを図示し、主要構造物箇所、大盛土、切土地点を踏査し、工法、規模を検討する。	○
2 線形計画・設計		
2-1 線形計画・設計基本方針	概定した線形について、総合的に比較検討し、細部設計に資する。	○
2-2 平面計画	1/500 実測平面図（20mピッチ測点入り）上に、車の走行に適したカーブ設定等、平面線形を決定する。	○
2-3 縦横断計画	1/500 平面図上 20mピッチ測点により、走行性を勘案し、切盛バランスを考慮し、縦横断計画を行う。	○
2-4 構造物計画	現地条件を考慮し構造物の形式寸法を概定する。	○
2-5 交差点計画	詳細測量に基づき詳細交差点設計を行う。	-
3 土工計画設計		
3-1 縦断面図作成	1/500 で縦断面図、平面図を同一図面上に作成する。	○
3-2 横断面設計図作成	1/100 実測横断面図により、法面の安定対策工法等を検討し、横断設計図を作成する。	○
3-3 土積図作成	土積図を作成する。	○
3-4 土量配分計画	土量配分を行い、建築機械の組合せ、土取場、土捨場の選定を行う。	○
4 舗装計画・設計図作成	詳細土質試験データにより、施工性等を考慮し、舗装厚等の設計を行い図面を作成する。	○
5 附帯構造物設計図作成	工事発注の為の構造計算等、詳細設計を行い、設計図面を作成する。	○
6 大型構造物の計画設計・図面作成		
6-1 道路トンネル		-
6-2 橋梁		-
6-3 門型ラーメン・箱型函渠		-
6-4 擁壁		○
7 排水計画、設計	水理、構造等詳細設計を行う。	○
8 工事数量計算		
8-1 土工、法面工等	設計横断面図により詳細数量を算出する。	○
8-2 附帯小構造物一式	設計図書に基づき詳細数量を算出する。	○
9 概算工事費積算	市販の物価版等を用い工種、規模別にm当たり、m ² 当たり、m ³ 当たり、箇所当たり等の単価を作成し概算工事費を算定する。	○
10 施工計画	工事施工の使用機械の種類、工程計画等基本的事項の計画を行う。	○
11 特記仕様書作成	工事実施が可能な特記仕様書を作成する。（工事単位毎）	-
12 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○
13 点検とりまとめ	成果資料の点検、とりまとめを行い、報告書を作成する。	○